

「桐の苗木」を植樹！



10月26日、平成27年度両沼地方植樹祭が三島町で開催され、福島県を始め林業団体、近隣町村、地元三島小学校児童の参加のもと、班編成を行い、「桐の苗木」を植樹しました。この事業は、児童生徒や地域住民の森林に対する関心を高め、森林・緑化環境整備についての学習に役立てることを目的として行われています。

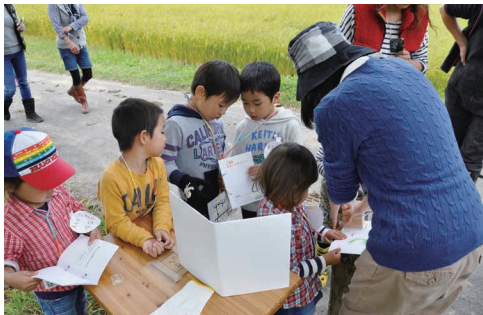
親子で収穫体験



いっぱい収穫できました！



ズッキーニも収穫！



みんなでスタンプラリーを楽しみました

10月5日、桐の里産業株式会社が滝谷地区の上滝谷地内にある「ごつつあんファーム」でロメインレタスの収穫体験が行われました。同社は今年度から町内の遊休農地を借り上げ、ロメインレタスやズッキーニなどを栽培しています。収穫時期に合わせ、ロメインレタスのおいしさを多くの方々に知ってもらうため、町外在住の親子ら17名が参加し、収穫に汗を流しました。収穫後は参加者全員でスタンプラリーを楽しみ、その後、町民センターへ移動し収穫したロメインレタスでシチューやサラダに調理され、おいしく味わいました。

福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

只見川第一鉄橋

11月 目次

- ロメインレタス収穫体験
- 第11回会津の編み組工芸品展
ものづくり再光展
- TownNews みしまの出来事
- 昔ながらの道具を使い脱穀作業／からんころんでお月見の会／酒井ハナヨさん・栗城佐さんが福島県社会福祉大会会長表彰を受賞／町教育委員に齋藤大輔さんを任命／全国過疎問題シンポジウム2015inかがわ／本名光子保健師が公衆衛生事業功労者表彰を受賞／栗城ヒサノさん県・町から100歳の祝状贈呈／秋を見つけに、美坂高原へ／JR只見線利用促進ツアー『紅葉の田子倉湖遊覧』／消防人として任務の重要性を再確認町消防団秋季検閲式／熱戦繰り広げたビーチバレーボール大会！
- 町民記者通信
- 五穀豊穰願い例大祭とお籠り（松原地区）／後世に伝えよう！平和の大切さ（西方地区）／「棚田お田助オーナー」稲扱き行われる（間方地区）／いざ！という時に／「美女峠ウォーキング」行われる（間方地区）／和やかな雰囲気の中での地域づくり懇談会（西方地区）
- 平成26年度決算について
- 町職員の給与と定員管理について
- みんなの公民館
- 民話
- 診療日記 他
- TrioLes hommes SKY（レゾム・スカイ）コンサート／町長日記

第11回会津の編み組工芸品展

二瓶キシイさんに会津地方振興局長賞



交流センター山びこギャラリーホールの様子



生活工芸館内の様子

第11回会津の編み組工芸品展は10月17日・18日、交流センター山びこで開催されました。会津の12市町村、98人から寄せられた594点の作品を審査し、ヒロロ・モワダショルダーバッグを出展した二瓶キシイさん（名入）に、最高賞の福島県会津地方振興局長賞が贈られました。

会場にはお目当ての品を求める多くの人が訪れ、午前9時30分の開場と同時に混み合いました。またマタタビ細工、ヒロロ細工などの実演コーナーでは、伝統工芸士の皆さんが実演披露しました。

また、ものづくり再光展が生活工芸館内で同時開催され、来場された方々は優れた技の品々に触れていました。

第11回会津の編み組工芸品展受賞名簿

賞	作 品	作 者	市町村
福島県会津地方振興局長賞	ヒロロ・モワダショルダーバッグ	二 瓶 キシイ	三 島 町
会 津 若 松 市 長 賞	山ブドウ掛け編み買い物かご	齋 藤 クニイ	会津若松市
喜 多 方 市 長 賞	竹 あ ん こ し ザ ル	武 藤 徹太郎	喜 多 方 市
北 塩 原 村 長 賞	山ブドウ手提げバッグ	羽 賀 孝 子	三 島 町
磐 梯 町 長 賞	ア ケ ビ 旅 行 か ば ん	菅 家 千代子	三 島 町
会 津 坂 下 町 長 賞	マ タ タ ビ そ ば 箆	太 田 清 仁	会津坂下町
柳 津 町 長 賞	山ブドウ抱えバッグ	土 橋 澄 男	柳 津 町
三 島 町 長 賞	山ブドウ手提げバッグ	板 橋 泰二郎	三 島 町
金 山 町 長 賞	マ タ タ ビ 大 箆	市 川 里 美	金 山 町
昭 和 村 長 賞	アカソ・ヒロロ手提げバッグ	齋 藤 トキイ	昭 和 村
会 津 美 里 町 長 賞	クルミ手提げバッグ	野 中 勇	会津美里町
南 会 津 町 長 賞	ヒロロショルダーバッグ	二 宮 てい子	会津若松市
只 見 町 長 賞	ヒロロ手提げバッグ	飯 塚 成 子	只 見 町
西 会 津 町 長 賞	ヒロロ・アカソショルダーバッグ	大 竹 りう子	西 会 津 町
湯 川 村 長 賞	座 敷 ほ う き	片 桐 利 永	湯 川 村
福 島 民 報 社 賞	山ブドウ手提げバッグ	二 瓶 譲	三 島 町
福 島 民 友 新 聞 社 賞	マタタビ麻の葉模様平箆	角 田 恵 治	金 山 町
奥会津三島編組品振興協議会長賞	山ブドウ手提げバッグ	小 堀 千加子	三 島 町
	山ブドウ手提げバッグ	角 田 清 義	三 島 町
	ヒロロ・アカソ・山ブドウ手提げバッグ	長谷川 テル子	三 島 町
	ヒロロ・アカソショルダーバッグ	大 山 達 朗	会津若松市
	クルミ縞模様手提げバッグ	矢 部 晋 也	会津若松市

（敬省略）

町教育委員に齋藤大輔さんを任命

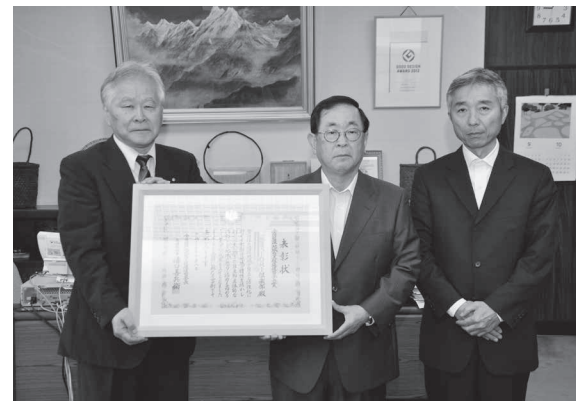
町教育委員の任命は10月1日に行われ、齋藤大輔さん（宮下）を任命しました。教育委員は議会の同意を受けて町長が任命するもので、4人の委員と教育長で教育委員会を組織し、地域の教育、文化、スポーツ等の振興などについて審議します。

	氏名	任期
教 育 長	坂 内 洋 二	H27.7.1 ～ H31.6.30
教育長職務代理者	阿 部 和 彦	H24.10.1 ～ H28.9.30
委 員	半 澤 美 由 紀	H23.12.21 ～ H27.12.20
委 員	小 島 順 子	H25.10.1 ～ H29.9.30
委 員	齋 藤 大 輔	H27.10.1 ～ H30.9.30



矢澤町長から任命を受ける齋藤大輔さん

全国過疎問題シンポジウム 2015in かがわ 過疎地域自立活性化優良事例表彰式



矢澤町長へ表彰受賞の報告を行った佐久間源一郎さん、金親文史さん

10月8日、香川県高松市において、「全国過疎問題シンポジウム 2015in かがわ過疎地域自立活性化優良事例表彰式」が行われ、当町からは一般社団法人IORI倶楽部が「地域の人々の持続可能で豊かな暮らしの実現」と「時代を切り開く新しいライフスタイルの創造」に取り組み、会津材を活かしたコンセプトハウスの設営、IORI カフェの運営、古民家をシェアオフィスとして再生し、IT企業の進出を促すとともに、都市部との交流による定住の促進に取り組んでいる点が評価され、今回の受賞となりました。IORI 倶楽部は早戸地区を中心に、様々な活動に取り組み、上記の活動の外にも、北欧からアーティストを招き制作活動や展覧会の開催を支援し、地区住民との交流会を開催するなど、お互いの国の歴史や文化の交流も行っています。今回の受賞を機に更なる活動の発展を期待し、他にも住民主体の町づくり集団が作られ過疎地域の活性化と様々な方々との交流を通して、更なる定住の促進につながればと考えます。

保健師本名光子さんが公衆衛生事業功労者表彰を受賞

10月14日、福島市において「健康ふくしま21推進県民表彰式」が開催され、町保健師の本名光子さんが「日本公衆衛生協会福島県支部長」・「福島県国民健康保険団体連合会長」の連名表彰を受賞しました。本名光子さんは、昭和54年から町保健師として、子どもからお年寄りまで、町民の健康増進のために日々活躍されたことが評価され、今回の受賞になりました。



受賞した保健師本名光子さん

昔ながらの道具を使い脱穀作業



作業を終えて、びおたんクラブの方々と記念写真

三島小5年生児童が稲作を体験する「田んぼの学校」で、うるち米を栽培し、9月24日に稲刈りを終えました。稲は自然乾燥させ、10月15日に脱穀を行いました。宮下地区びおたんクラブの方々の協力を得て、「千歯こき」「ハーベスター」などを使って脱穀しました。児童たちは昔ながらの道具を使い、とまどいながらも、脱穀作業を終えました。収穫されたうるち米は、10月28日に開催された「スーパー給食」でおいしくいただきました。

からんころんでお月見の会

9月28日、からんころんでお月見の会が開催され、親子など約20人が参加し、栗城博子さん（宮下）を講師に招き、伝統的なお月見飾りを作りました。子どもたちは大きい団子まるめにとまどいながらも、栗城さんに手ほどきを受けながら上手に団子をつくりました。子どもたちが丸めたお団子は、あんこやみたらしでいただき、午後8時過ぎには、中秋の名月を観ることができました。



みんなで集合写真

酒井ハナヨさん・栗城佐さんが福島県社会福祉大会会長表彰を受賞



受賞した酒井ハナヨさん、栗城佐さん

10月27日に会津若松市「会津風雅堂」において、県内の社会福祉関係者、団体約1,700人が一堂に会し、第69回福島県社会福祉大会が開催されました。席上、「社会福祉法人みしま」の役員を長年務め、その功績が顕著であると認められ、酒井ハナヨさん（宮下）と栗城佐さん（宮下）が福島県社会福祉大会会長の表彰を受けました。

消防人として任務の重要性を再確認 町消防団秋季検閲式



勤続 25 年の町長表彰を受賞した第二分団長の大竹克昌さん



通常点検を行う統監と来賓の方々



全団員による分列行進

町消防団秋季検閲式は10月25日、町民グラウンドで行われ、福島県消防協会会津坂下支部長（代理：副支部長の昭和村消防団 山内団長）を統監とし、通常点検、小隊訓練、分列行進におき検閲を受けました。また、町長表彰 25 年、20 年、団長表彰 15 年の永年勤続者が表彰され、受章者を代表し第二分団長の大竹克昌さん（滝谷）が謝辞を述べました。最後に二瓶義徳消防団長から、「いつ襲ってくるか分からない災害に備え、訓練に励み、広域消防や関係機関と連携し、地域住民が安心して住める地域づくりを目指したい」と謝辞を述べました。

熱戦繰り広げたビーチバレーボール大会！



教育委員会主催のビーチバレーボール大会は10月28日・29日、三島中体育館で開催されました。地区で参加したチームや、友人同士、職場で参加したチームなど計11チームが参加し、笑顔の絶えない試合を繰り広げました。選手の皆さん2日間大変お疲れ様でした。

1部 優勝 オール桑原



【1部結果】

優勝 オール桑原
2位 NBC
3位 ゆかりな仲間たち

2部 優勝 平成みしまっ仔☆



【2部結果】

優勝 平成みしまっ仔☆
2位 Six dieu
3位 ミニっこ

栗城ヒサノさん県知事・町長から100歳の祝状贈呈

栗城ヒサノさん（宮下）へ県知事及び町長から100歳高齢者に対する祝状と記念品が贈られました。10月1日、桐寿苑にて、祝状と記念品が矢澤町長から手渡されました。また、桐寿苑理事長より、記念品の花束が贈られ、ご家族の栗城隆雄さんが御礼の言葉を述べられました。栗城ヒサノさんは大正4年生まれの100歳。長寿の秘訣は、「好き嫌いなく何でも良く食べる事と、編み組細工などのてわっさが得意であった事」と、ご家族がお話されていました。



矢澤町長から100歳高齢者の祝状を受け取る
栗城ヒサノさんとご家族

秋を見つけに、美坂高原へ



美坂高原園内で集合写真を撮りました！

三島保育所の秋の遠足が9月29日に行われました。リュックを背負ってバスで向かった美坂高原には、一面に黄色いコスモスが咲いていました。青空の下、子どもたちは広い草原を駆けまわったり、切り株を太鼓にしてたたいたり、木の枝から下げたロープによじ登ったり。澄み切った秋の空気を満喫して、おいしいお弁当を食べてきました。花を植えたり草を刈ったりと整備された美坂高原で楽しい1日を元気いっぱい楽しむことができました。

JR只見線利用促進ツアー『紅葉の田子倉湖遊覧』

10月24日、JR只見線利用促進ツアー『紅葉の田子倉湖遊覧』へ参加者10名で出かけてきました。汽車と代行バスを乗り継ぎ、只見駅からは貸切バスで田子倉湖へ。遊覧船からは快晴に映える紅葉と浅草岳の雄姿を楽しむことができました。昼食には只見町叶津にある『ビストロ叶屋』にて三島町産の会津地鶏を使った『地鶏カレー』とデザートを堪能した後、大塩炭酸泉の見学と8月に改装が完了した大塩温泉共同浴場での入浴も楽しみ、のんびりとした秋の1日を過ごすことができました。



参加者の皆さんで集合写真を撮りました！



いざ！という時に

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）



消防署員の指導により心肺蘇生法の講習に取り組む

9月27日、三島町消防団は、各消防班の副班長以上を対象に「普通救命講習会」が行われました。講習会では会津坂下消防署三島出張所署員の指導で、AEDの使用方法やダミー人形を使用した心肺蘇生法の実技を行い、参加した消防団員が熱心に取り組みました。講習会終了後に、受講者全員に普通救命講習会修了証が交付されました。

「美女峠ウォーキング」行われる（間方地区）

文・写真 町民記者 菅家壽一さん（間方）

10月25日、天候に恵まれ、紅葉の真っ盛りの中、約60名が参加して、美女峠のウォーキングが行われました。只見川沿いの道路や鉄道が整備される前は、美女峠が主要道路でした。昭和16年に鉄道が宮下まで開業した時は、昭和や只見方面の人達は、宮下で汽車を下り、この街道を歩いて帰りました。このウォーキングは、美女峠改良期成同盟会の主催により開催されたもので、かつては、自動車道への改良を実施していましたが、今は休止している状況です。現在、県では、この銀山街道を「歩く県道」として数年前から整備しています。地区の活性化事業の「美女峠の里まがた」では、高姫伝説の紙芝居をつくり上演したり、峠道の散策の案内をする等、歴史と伝説のある美女峠を活かした村おこしに取り組んでいます。間方側の峠道は、緩やかな勾配で、道幅が広いことから、老若男女を問わず、おしゃべりしながら、並んで歩けることが魅力です。是非、お出下さい。



美女峠頂上で集合写真を撮りました！

和やかな雰囲気の中での地域づくり懇談会（西方地区）

文・写真 町民記者 本名与四郎さん（西方）



様々な意見や質問に応える町担当者

9月25日、西方ふるさとセンターにおいて「西方地区地域づくり懇談会」が行われました。三島町役場から矢澤源成町長、秦育雄副町長、坂内洋二教育長、小堀庄太郎町民課長他町職員2名が趣旨説明などで出席しました。はじめに、二瓶辰雄西方区長と矢澤町長の挨拶があり、懇談が始まりました。懇談の主な内容として、前期の地区目標の反省、地区の現状調査、地区での実現可能な事業、地区の目標についてさまざまな視点から西方地区の生き残りを踏まえた建設的な質問や意見が多数出されました。今回の地域づくり懇談会を通して、西方地区の更なる発展と地区住民が豊かな心を持ち、生き生きと暮らしていける熱き願いが感じられました。

五穀豊穰願い例大祭とお籠り（桧原地区）

文・写真 町民記者 佐々木邦雄さん（桧原）



直会の様子

9月14日、桧原地区で春日神社の秋の例大祭が10名の氏子の参列により厳粛に執り行われました。青木基重宮司によりお祓いと祝詞奏上が読み上げられ、続いて阿部通利神社総代表と氏子を代表して片山敏幸区長により収穫前の五穀豊穰と地区の安寧を込め玉串が捧げられました。直会はその場で実施され、和やかなひと時を過ごしました。午後7時より神社境内で伝統行事を受け継いでいるお籠りが開催され、各家庭から持ち寄った品々を酒の肴に夜遅くまで大いに盛り上がり親交を深めた一日となりました。

後世に伝えよう！平和の大切さ（西方地区）

文・写真 町民記者 本名与四郎さん（西方）

10月12日、午前11時より、西方ふるさとセンターにおいて「ボランティア岩倉会」が行われました。今回は、小松順吉さんを講師としてお呼びして、「戦争体験談」を中心として自由にお話をいただきました。当日は、西方の地区住民と小学生も含めて50名以上の皆さんが戦争にまつわる体験談の話を釘付けとなりました。話の主な内容として、昭和初期の修学旅行は杉峠を歩いて野沢駅まで行った話、15円の初任給で時計を購入し、さらにはバイオリンを購入した話、海軍通信学校に入校したものの数学や英語が分からず、夜、トイレで勉強した話、711航空隊1式陸攻45機、零戦150機の特攻隊で茨城県神之地で編成され、3,000メートル上空から真っ向に落下する訓練の話、宇佐の航空隊では豊後水道から入ってきたグラマンの攻撃で300名が即死した話、通信学校同期3,000名のうち生き残ったのが240名。戦後、毎年同期会を開催して再会をしていたが、90歳になって13名となってしまった話など枚挙にいとまがありませんでした。最後に、「生き残ったことが不思議なくらいだった」と話されました。戦争がいかに悲惨で筆舌につくし難いものであるかを身にしみて感じたお話でした。



戦争体験の話に聞き入る地区住民



戦争の悲惨さを語る小松順吉さん

「棚田お田助オーナー」稲扱き行われる（間方地区）

文・写真 町民記者 菅家壽一さん（間方）



稲扱きを体験したオーナーとそのご家族の皆さん

10月10日、宮ノ前地内において、オーナーとご家族や友達、そして、「お田助隊」等が駆け付けてくださり、稲扱きが行われました。近年、高齢化や採算が合わない等により、耕作されない田んぼが増え、美しかった里山の景観も損なわれてきました。このため、地区外の方々の力をお借りして、楽しみながら美しい景観を守っていただくとともに、自分でつくった美味しいご飯を食べていただこうと始めたものです。この日は、福島市、郡山市、会津若松市、会津坂下町、会津美里町、三島町から、12名が駆け付けてくださり、20日間ほど「ネリ」に掛けタツブリとお天道様の恵みをいただいた稲を扱きました。天気にも恵まれてとても賑やかな稲扱きとなりました。また、稲苗と供に植えたマコモダケも採り、参加者全員で収穫の喜びを分かち合いました。

平成26年度 決算

町の一般会計と7つの特別会計の平成26年度決算が、町議会9月定例会で承認されました。一般会計は前年度と比べて、歳入は9・5％増、歳出は11・6％増となりました。実質的な赤字はなく、町の「借金」の状況を表す実質公債費比率、将来負担比率はともに健全な範囲を維持しています。

黒字決算と基金の積み増しで健全財政を維持

自治体の財政破たんを未然に防ぎ、悪化した自治体に対して早期に健全化を促すために、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」があります。この法律に基づき、「健全化判断比率」と「資金不足比率」の公表が義務付けられています。当町はすべての値が早期健全化基準を下回っており、健全財政を維持しています。しかし自主財源に乏しく国に頼る財政基盤であるため、今後も慎重に財政運営を進めていきます。

健全化判断比率

判断指標	平成26年度	平成25年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	20.0%	30.0%
実質公債費比率	6.1%	7.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—（※）	—（※）	350.0%	—

（※）平成25・26年度の将来負担比率は算定されないため「—」となります。

資金不足比率

対象となる事業	平成26年度	平成25年度	経営健全化基準
簡易水道事業	不足なし	不足なし	20.0%
農業集落排水事業	不足なし	不足なし	
戸別合併処理浄化槽事業	不足なし	不足なし	

安定した財政運営を維持するとともに、万が一の緊急事態に対応するため、町では基金の維持に努めています。基金には財政調整基金などの積立基金と、各種貸付基金からなる定額運用基金があります。平成26年度は、前年度の剰余金に積み増したことから、公共施設整備基金で5234万円の増、減値基金で5000万円の増となりました。今後、将来負担に備えるために必要となる財源確保に向けた基金の運用に努めていきます。

基金種別	平成26年度末残高	増減
積立基金	17億923万円	＋8,101万円
財政調整基金	9億138万円	－434万円
その他の各種特定目的基金	8億785万円	＋8,535万円
定額運用基金	1億692万円	1,277万円
うち貸付額	6,941万円	－31万円
うち現金	3,728万円	－1,308万円

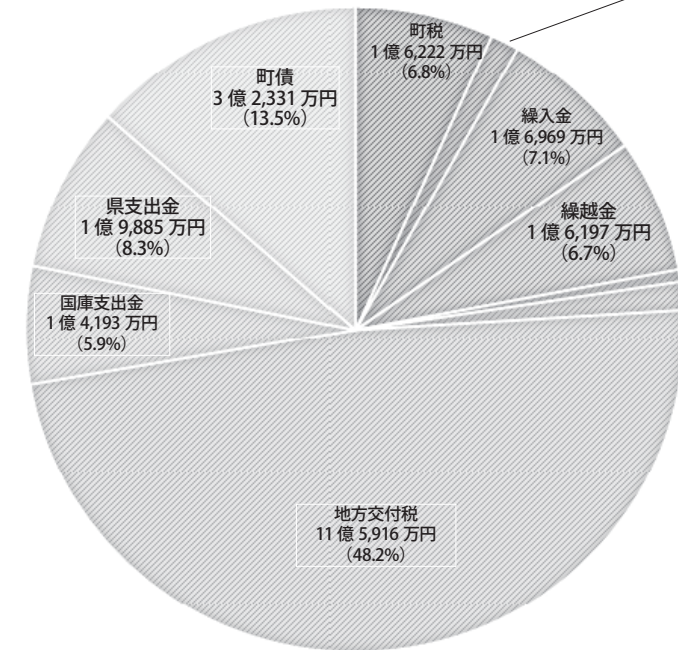
多額の費用を要しても町民のためには重要と判断された事業は、国や県の補助金のほか、返済額の70％が地方交付税で措置される過疎対策事業債などの地方債、いわゆる「借金」をして実施しています。平成26年度末の地方債残高は2億4911万円（うち一般会計分18億8904万円）となっていますが、これは健全化判断比率が表す通り健全な範囲内です。今後も重要事業は計画的な借り入れにより実施していきます。

財政運営の柱となる地方交付税で、決算額の約半分を占める普通交付税において2,490万円（2.4％）の減となり、特殊事業等への措置として交付される特別交付税において、535万円（3.5％）の増となったものの、地方交付税全体で1,955万円（1.7％）の減となりましたが、町営住宅整備や町道各路線の消雪改良・新設等の社会資本整備総合交付金事業により国庫支出金や地方債の借入が増加したことが歳入増の主な要因です。

分担金及び負担金 239万円、使用料及び手数料 2,462万円、財産収入 578万円、寄付金 285万円（1.4％）

諸収入 1,503万円（0.6％）
地方譲与税 1,172万円、利子割交付金 26万円、配当割交付金 73万円、株式等譲渡所得割交付金 39万円、地方消費税交付金 2,020万円、自動車取得税交付金 157万円、地方特例交付金 15万円（1.5％）

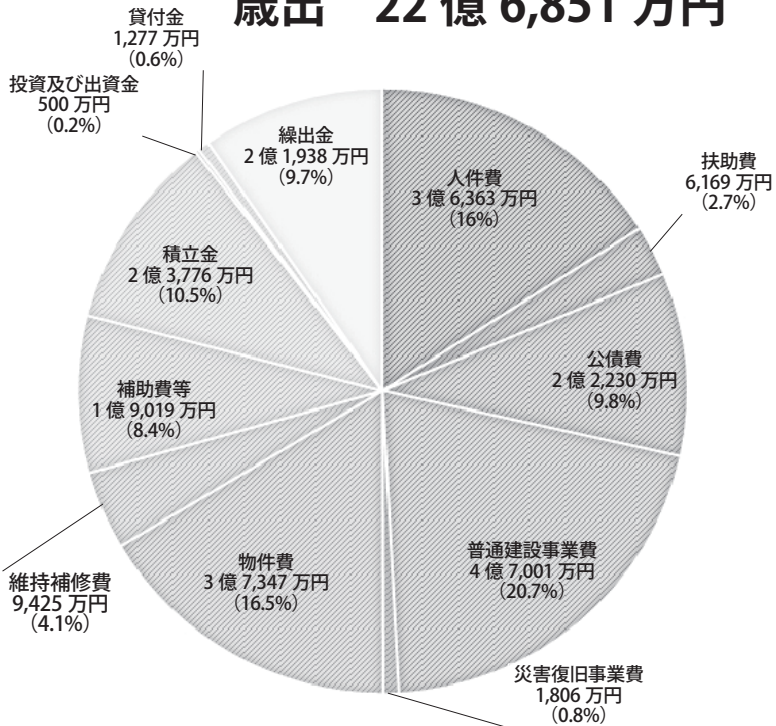
歳入 24億282万円



一般会計 歳出は11.6％増、実質収支で1億2,273万円の黒字

平成26年度の事業により増加したものは、臨時福祉給付金事業の実施により扶助費が増額となったものの、人件費並びに公債費が減額となっています。普通建設事業費では、町営住宅宮下館団地建設工事や高齢者集合住宅建設工事等の実施により大幅な増額となりました。また、災害復旧事業費において、農地並びに林道災害復旧事業により増額となりました。維持補修費では、各施設並びに町道等の修繕、除排雪費用等で増額となったものの、補助費において、空き家・住宅改修費等助成事業をはじめとした各種補助金は減額となりました。繰出金においては、各種特別会計において、増額となっています。

歳出 22億6,851万円



決算が承認された9月議会

町職員の給与と 定員管理の状況を お知らせします。

町職員の給与は、民間給与の調査に基づく
人事院勧告を基本に、県や他の公共団体との
均衡などを考慮し、条例で定められています。
平成27年4月1日現在の地方公務員給与実
態調査および地方公共団体定員管理調査を基
に、町職員の給与と定員管理の状況を公表し
ます。

総務課 ☎（48）5511

◆人件費の状況（平成26年度普通会計決算）

住民基本台帳人口（平成27年4月1日現在）1,792人

歳出額（A）	実質収支	人件費（B）	人件費率 （B／A）
22億6,902万円	1億2,381万円	3億6,363万円	16.0%

③人件費には非常勤の特別職に支給する給料や報酬も含まれます。

当町の定員管理の取り組み

当町では行財政改革の中で、あらゆる事務事業の
見直し、組織再編などを行ってきた結果、定員管理計
画による職員削減目標を達成しました。

今後も定員管理計画に基づき、適正な定員管理を
行っています。

◆部門別職員数の状況（平成27年4月1日現在）

部 門	職員数	前年度からの増減
一 般 行 政 部 門	議 会	1 ±0
	総 務	11 ±0
	税 務	2 ±0
	民 生	6 -1
	衛 生	2 ±0
	農 林 水 産	3 ±0
	商 工	3 ±0
	土 木	3 ±0
	小 計	31 -1
特 別 行 政 部 門	教 育	9 +1
公 営 企 業 等 会 計 部 門	水 道	1 ±0
	国 保	1 ±0
	そ の 他	1 ±0
	小 計	3 ±0
合 計	43	±0

④職員数は一般職に属する人数であり、町長、教育長、派遣職員、臨時
または非常勤職員は除いています。

◆職員給与費の状況（平成26年度普通会計決算）

職員数（A）	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計（B）	1人当たりの 給与費（B／A）
41	1億4,996万円	2,872万円	5,434万円	2億3,302万円	568万円

④職員数は平成26年4月1日現在。職員手当には退職手当を含まない。

◆職員の平均年齢、平均給料・給与の月額

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	37.3歳	28万1,119円	32万3,043円

④平成27年4月1日現在の給与＝給料＋諸手当

◆平成27年4月1日現在の特別職の報酬等

区 分	役 職	月 額	期末手当（平成26年度支給割合）		
			6月期	12月期	計
給 料	町 長	69万4,000円	1.4月分	1.5月分	2.9月分
	議 長	22万5,000円			
	副議長	18万4,000円			
	議 員	16万6,000円			

◆平成27年4月1日現在の初任給および経験年数別・学歴別平均給料月額（一般行政職）

学 歴	初任給	経 験 年 数			
		10年	20年	25年	30年
大学卒	17万9,300円	26万4,100円	※	※	※
高校卒	14万6,300円	21万8,300円	32万6,300円	37万2,400円	38万8,400円

④経験年数とは卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合の年数をいいます。（※）については、該当なし

◆職員手当の状況（平成26年度支給割合）

	6月期	12月期	計
期末手当	1.225月分	1.325月分	2.55月分
勤勉手当	0.675月分	0.825月分	1.50月分

（平成26年度決算）

その他の手当	扶養手当	住居手当	通勤手当	時間外手当	寒冷地手当
支給総額	594万8千円	241万9千円	186万4千円	984万0千円	257万1千円
1人当たりの 平均支給年額	21万2,429円	18万6,077円	6万4,276円	27万3,333円	5万7,133円

④1人当たりの支給年額は、支給総額をそれぞれの支給要件に該当する職員数で割った額です。

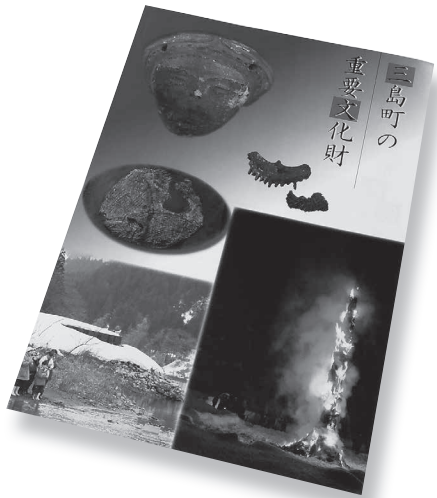
みんなの公民館

問三島町公民館
☎（48）5599

◎文化財は町の宝物

文化財は、歴史や芸術
等の観点から価値のある
有形・無形のことを指し、
特に価値の高いものは国
や県、町が重要文化財と
して指定しています。

三島町の重要文化財
は、国指定が1件、県指
定が2件、町指定のもの
が13件あります。毎年1
月15日に行われる「三島
のサイノカミ」は、平成
20年に国の重要無形民俗
文化財に指定されまし
た。また漆製品や編組品



三島町の重要文化財をまとめたパンフレット

などが発掘された「荒屋

敷遺跡出土品」は、県の
有形文化財に指定されて
おり、「鳥追い」や「ひ
な流し」「虫送り」など
の行事は、「三島町の年
中行事」として県の無形
民俗文化財に指定されて
います。町では、いくつ
かの仏像や発掘された出
土品などを文化財指定し
ているほか、蝶や名木を
天然記念物に指定してい
ます。

毎年11月1日から7日
までの一週間は「文化財

保護強調週間」となりま

す。町教育委員会では、
町の文化財についてまと
めたパンフレットを作成
しましたので、皆さんの
お手元にお届けします。
町民の皆さんの手で受
け継がれる文化財、身近
な場所で古来からの歴史
を物語る文化財を、後世
に伝えていきましょう。

問交流センター山びこ
☎（52）2165

◎小中学校で演劇体験

三島小・三島中におい
て、演出家を招いた演劇
体験ワークショップを行
いました。昨年度から実
施している県事業「森の
はこ舟アートプロジェクト」の一環で、三島中
には演出家の館そらみさん
と俳優の石松太一さんを
迎え、全校生徒を対象に
実施。三島小には演出家
の田上豊さんを迎え、6
年生を対象に行いまし



授業風景を表現する生徒たち



町民センター図書コーナー ゆめぼけっと

●利用時間 ⑩～⑫ 9:00～21:00 ⑩⑫ 9:00～17:00 ●お休み 年末年始



火花

又吉直樹 著
文藝春秋

よしもと所属のお笑いコンビ「ピース」
の又吉直樹さんの芥川賞作品。笑いあり、
少し切なくなる、濃密な青春を描いた小
説です。



シンプルに考える

森川亮 著
ダイヤモンド社

スマホ向けアプリ「LINE」を全世界に
広めた社長の著作。「あれもこれも」と表
面的な価値に惑わされるのではなく、「何
が本質か」を考え尽くすことを説く。



ハツ江の料理教室

高木ハツ江 著
小田真規子 監修
NHK 出版

NHKの番組「きょうの料理ビギナーズ」
に収録されたメニューを詳しく掲載。食
材の下ごしらえや、「焼く」「煮る」など
調理の基本を分かりやすく解説します。

民話



第56話 雨乞い岩の話

長 郷 千代喜さん（間 方）

ほれ この先の山、志津倉どつて言うだがな、かしや猫の話もあつて靈驗あらだがな山だよ。

志津倉のふもとが、おらだれの村だ。村の伊豆神社ど雷神様どは、百五十間、んだなあゝ約三〇〇メートルはなっちえんだ。そごさ、しめ縄はつてな、志津倉山の黒岩さ 祭壇設げで、お供え物持つてつてな、たいぜえで拝もうすだわ。

俺は今 五十六才だがら、この間方にも雨乞い体験した年寄りが、まくだ居んだその人だれな、でつっけえ声出して 唱えだだど

アンメー タンメー

タンサクヤー

西ノー山ノー頂上ニー

オダチ ト メダチ ガ サガッター つてな。

みんなして 家さ戻んねえ内に、雨が降るっちゅう訳だよ。

オダチ ト メダチは《男達》と《女達》つつうごどだ。

蕎麦口上

小 松 順 吉さん（西 方）

とごい とごいといと鳴り物をとめおきまして、そそうな奴がまかり出で

ほめるようこそ知らねども お蕎麦でさつと ほめましよう

さして 目出度い祝いの蕎麦 蕎麦ほど目出度いものはない

いらびの いらびしこの蕎麦は 夏の土用に種をまき 二日三日で目を出して

十日二十日で花が咲き 蜂や蝶々にもてはやされて実を結び

その名も蕎麦太郎三つ角と名付けられ 秋の土用となりぬければ

石白五郎左衛門のざんげにより 絹やふるいの助の手にかかり

鉢の村へと引き出され お湯と水とでこねられて

四角四角の盤上で ねって まるめて たたかれて

地域ふれあいサロン

【浅岐あったかサロン】

日 時 11月13日⑤
午前10時から
場 所 浅岐集会所

【サロンないり】

日 時 11月13日⑤
午前10時から
場 所 名入公民館

心配ごと相談

日 時 11月13日⑤
午前9時30分から11時30分
場 所 福寿草

☎町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

ご寄附 ありがとうございました

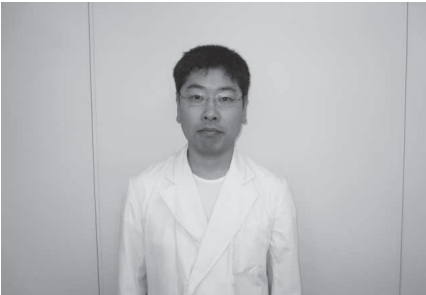
町への寄附（ふるさと納税）

小 貫 芳 信 様（東京都世田谷区）
金 澤 壮 一 様（矢吹町）

町社会福祉協議会への寄附

ご遺志によるもの

長谷川 幸 榮 様（川 井）
佐 藤 好 一 様（荒屋敷）
秦 初 雄 様（大石田）



残薬問題について

専門薬剤技師兼薬剤部長 近 藤 剛

今日の日本では医療費の増大が社会問題になっています。その原因の一つとして、処方された薬が残ってしまう「残薬問題」があります。薬が残ってしまう原因として、厚生労働省の調査では、

- ・薬の種類や量が多く、飲む時間が複雑で飲み忘れた
- ・病気が治ったと自分で判断し飲むのをやめた
- ・処方された日数と医療機関に受診する日との間隔があわなかったなどがありました。

飲み忘れの対処法として、一般的には、「いくつかの薬を飲む時間にあわせてひとまとめにする（1包化）」、「お薬カレンダーの利用」などが考えられますが、どの方法が一番良いかは、患者さんひとりひとりの家庭環境などでも変わってきます。また薬の数があわない時の対処法として、当院では入院した患者さんの場合は、薬剤師が薬を整理します。必要に応じて医師へ薬の中止等を伝え、薬の減量を提案しています。そして、処方する薬の数と次回受診日とを調整して退院していただいています。一方、外来の患者さんの場合は、まず残っている薬を病院に持ってくるよう患者さんに伝えます。医師にはその残っている薬を考慮して、次回受診時に薬を処方するよう提案しています。また、使用していない薬に関しての保管方法なども提案しています。日本の医療費が増大していくなかで、当院としましても少しでも医療費削減に協力していきたいと思ひます。ご協力宜しくお願いします。

自衛官採用試験のご案内

採用種目	資 格		受付期間	日 時
高等工科 学校生徒	推薦	男子で中卒（見込み含）17歳未満の成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な成績を納め学校長が推薦できる者	平成27年11月1日⑥～ 平成27年12月4日⑤	平成28年1月9日④～ 平成28年1月11日⑥
	一般	男子で中卒（見込み含）17歳未満の者	平成27年11月1日⑥～ 平成28年1月8日⑤	平成28年1月23日④ （1次）

詳しくは下記までお問い合わせください。

☎自衛隊 福島地方協力本部 会津若松出張所 会津若松市門田町大字黒岩字大坪 57-1 ☎ 0242 (27) 6724

11月の納税

納期限 11月30日

- ▶国民健康保険税 第4期
- ▶介護保険料（普通徴収） 第4期
- ▶後期高齢者保険料（普通徴収） 第4期

忘れずに納付ください。
役場 町民課

町の人口と世帯

10月1日現在

人口	1,779	-4	出生	1
男	859	-5	死亡	7
女	920	1	転入	4
世帯	796	-2	転出	2

④住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

折って たたんで 素性良く 定規正しくつくりあげ
お湯で茹で上げ 清水洗い 口に入れば こつき こつきのつるつると
千代を言祝ぐこの蕎麦は 誰にもまけないかつおのつゆで
そこでクルミも おそばでお役にたちたいと
誠に縁のふかねぶか ちよつと辛いがつぶがらし
縁の糸ひく納豆で 御客様のお望みしだい
たあくさん たあくさん おあがりくださうい

Trio Les hommes SKY コンサート



完戸吉由希

Yoshiyuki Shishido
(サクソフォーン)



小瀧俊治

Toshiharu Kotaki
(ピアノ)



山浦雅也

Masaya Yamaura
(サクソフォーン)

Trio Les hommes SKY (レゾム・スカイ)

福島・宮城出身の新進気鋭の演奏家3人によって結成された“Trio Les hommes SKY”

それぞれの頭文字 (Shishido・Kotaki・Yamaura) から取った

『空の男たち』という意のその名には

『天気のような様々な表情を持ち、空のように無限に広く大きな音楽を』という

単純ながらも音楽を楽しむ上で重要な意味が込められている

様々なフィールドで活躍する3人が三島町にやってくる

《演奏予定曲》情熱大陸：葉加瀬太郎、日本の童謡メドレー

メリーポピンズより“スーパーカリフラジリスティックエクスピアリドーシャス”

ツイゴイネルワイゼン：サラサーテ、アヴェマリア：カッチーニ その他

11/22^①

13:30 開場 14:00 開演

交流センター山びこ

【入場無料】

町長日記 (不易流行) No. 4

「雪国の生活文化を活かした最初の一步を」

私の町づくり施策の基本は、前回は掲載しましたが「温故知新」であります。三島の未来は「過去」からの伝言にあると考えます。先人の皆さまが築いてきた施策は、どう考えても「古くて新しい町づくり」であると考えています。

三島町の5本の柱として展開してきた、今、盛んに言われている都市と農村の交流の施策は、三島が昭和49年から展開してきた「ふるさと運動」であり、又地場資源の活用は「生活十景運動」であり、高齢者人口と医療費の増大は「健康づくり運動」で、高齢者社会の集落維持の課題は「地区プライド運動」。最後は、遊休農地の課題は「有機農業運動」であります。地方創生の時代の中で、これらの運動をどのようにして現代に活かしていくのか、我々に問われているのだと考えています。

桐に桐を継いでいく町づくりに大切なのは、5本の柱を参考にし、そして時代を捉え総合的に5本の町づくりの考え方を再考をし具体的な施策の構築を図ってまいります。そのためには、町民の皆さまとの信頼関係を築きながら職員はあくまでも、雇用主は「町民」であり、常に町民の目線で皆さんの貴重な税金をお預かりして「仕事」をしているのだという謙虚さを忘れる事なく、町民の皆さまと町づくりを展開していきたいと考えています。

(追記) 10月27日の福島民報新聞と福島民友新聞に、地方創生の先行型モデル事業として、内閣府が三島町を選定したという報道がありました。これも5本の運動の継続の精神が生きたものだと考えています。福島県や町民の皆さんの後押しがあったおかげだと考えます。これを契機として職員一丸となり、町づくりを展開していきたいと思えます。

三島町長 矢澤 源成

発行 三島町 編集 三島町役場 総務課

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎ 0241 (48) 5511

ホームページ <http://www.town.mishima.fukushima.jp>

印刷 北日本印刷株式会社